



参議院秋田選挙区候補

なか かい ずみ 松司

もう一度、
秋田のために

46才

なかかずみ松司のプロフィール

主な経歴

- | | |
|--------------------------|---------------------------------|
| 1979年 秋田市生まれ | ●参議院 予算委員会理事 |
| 1998年 秋田高校卒業 | 国土交通委員会理事 |
| 2003年 中央大学商学部卒業 | 農林水産委員会理事 |
| 齊藤滋宣事務所勤務 | 国会対策委員会副委員長 |
| | 自民党政務調査副会長 |
| 2005年 株式会社友愛ビル
サービス入社 | ●秋田県議会 総務企画委員 農林水産委員
教育公安委員長 |
| 2007年 秋田県議会議員当選(27歳) | ●JA秋田県青年部協議会 顧問 |
| 2013年 参議院議員当選(34歳) | ●秋田市竿燈会 顧問 |
| 2019年 落選 | ●秋田港ライオンズクラブ 会長 |
| | ●秋田港商友会 副会長 |



消費者と生産者の笑顔のためために。 なかいずみ だからできることがある。

私はあきらめない。

私は6年前、現職で臨んだ参議院選挙に落選しました。

以来、秋田に根差して農業の現場で汗をかきながら、ふるさとの皆様から日々暮らす上で感じる不安や課題、期待や可能性について、本当に多くの声をいただけてきました。

昨年から続く「令和の米騒動」と言われ、大きな岐路に立つ主食を取り巻く環境の変化。

人口が減る局面にあっても安心して暮らしを続けることができるよう、乗り越えていかなければならない人口減少社会。

毎年各地で起こる自然災害への対応と防災減災、災害に強い国づくり。風や地熱、豊かな自然を活かし日本のエネルギー政策の先頭に立つ地域づくり。

健やかに育ち、無限の可能性を持った子供たちの教育環境の充実。

世界情勢の激変により脅かされる世界と日本の平和。

解決すべき課題は山積しています。

秋田の皆さまの様々な声をしっかり受け止め、その声を政策・予算に落とし込み、確実に実行し形にしていくなかで、それが政治の役割であり、その経験が私にはあります。

辛く苦しくも多くを学んだこの6年間で「政治家」「農家」としてのこれまでの経験をふるさと秋田と日本のために。

もう一度、一生懸命頑張ります。



日本の主食を守る

米政策の推進 消費者の確実な主食の確保

昨年からの「令和の米騒動」のように、日本の食と農業政策は今大きな岐路に立っています。コロナ禍後の外食・中食産業やインバウンドの増、海外人気の高まりによる輸出増といった需要増などの要因を分析し、その上で私たちの主食であるお米を生産者が作り続け、国民が安心して手に取り、当たり前のように暮らすことができるよう、重点的に対策を講じていきます。

持続可能な農林水産業

地域の多様性を活かした農業 農林水産予算の確保・充実
持続的な生産環境づくり

地域によって、効率化・集積によって農業所得向上を目指す産業政策的農業と、そこで生業として農業を営み暮らしを続けることによって自然災害や鳥獣害から地域を守る社会政策的農業といった違いがあります。どちらも重要な両輪として守り育てなければなりません。農業予算の確保はもとより、過疎対策や森林環境整備などの様々な予算を組み合わせ、しっかりと生産者が再生産可能な、持続的な強いふるさとをつくります。

質の高い教育と子育て環境

ICTも活用した教育環境の充実 家庭の負担軽減 スポーツの振興

経済格差が教育の格差につながらないよう、自治体との連携を深め、学費や給食など地域と県民の実情に合わせた支援を受けられる環境をつくっていきます。また子供たちが夢と目標を持って日々を過ごせるよう、プロスポーツをはじめとするスポーツの振興に取り組みます。

人口減少社会の克服

課題解決最先端の秋田に 先進技術の積極活用
減少局面でも豊かに暮らせる国づくり

本格的に人口減少社会に突入した日本。その課題に最も早く向き合うことになった地域が私たちの暮らす秋田です。言い換えればその課題解決の最先端に現在の秋田があります。経済・産業から地域そのものの維持まで、どう乗り越えていくかを考えなければなりません。DXやAI、先進技術は人口が少ない地域でこそ大きな効果を発揮します。人口が減る局面にあっても知恵と技術で豊かに暮らすための政策を、国政の場で形にしていきます。

国民生活を守り抜く

国土、国民を守る 物価高対策 経済食料安全保障

日本の国土・国民を守るのは政治の大きな使命です。デフレからの脱却は道半ばですが、その過程で起こっている物価高に対しては政治がしっかり対応しなければなりません。景気回復を実現しつつ国民が安心して暮らせるよう、ガソリンの暫定税率廃止の早期実現をはじめとした物価高支援を充実させ国民の生活を守ります。また世界情勢がめまぐるしく変わり緊張感が高まる中で、日本の経済と食料をしっかり守り抜きます。

このほか、カーボンニュートラルの実現、防災減災の整備などにも取り組みます。